

ルビジウム周波数発振器

SA.22c [生産終了]

世界中の数多くの携帯電話基地局や放送基地局にてルビジウム発振器SA.22cが活躍しています。SA.22cは、X72の後継機種として、Microchip社(マイクロチップ社)の主力モデルとなっており、月産数千台を製造販売しています。



【後継機種: 超小型ルビジウム周波数標準発振器/MAC SA.3Xm】

ルビジウム周波数発振器 SA.22cは、生産終了となりました。
新たな後継機種として下記をご用意しております。

超小型ルビジウム周波数標準発振器/MAC SA.3Xm は、低価格、超小型、軽量、低消費電力を実現しており、今までOCXOを利用してきたアプリケーションへの適応が可能です。

主な特長

- 多様な帯域の周波数(矩形波)を出力可能
- 外部 1PPS信号への同期(GPS受信機とのインテグレーション可能)
- 周波数精度: $<\pm 5E-11$ (25°C、出荷時)
- エージング: $<\pm 5E-11$ /月(標準プロファイル)
- 動作温度:-10から +75°C
- 寸法:112.4mm(L) x 78.2mm(W) x 23.1mm(H)
- RoHS対応モデル
- 消費電力:起動時 18.5W、動作時 10W@25°C